

2025年度「早稲田松代塾」第69回～第74回 **受講生募集**

地域の資産としての歴史と地理

連続6回
12コマ

土地に根ざし、地域を特徴づける自然・人文現象(地理)や、時の流れの中で積み重ねられた営み(歴史)は、地域を読み解く大切な鍵であり、その魅力を伝える「地域の資産」ともいえる存在です。本講座では、早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修の6名の先生方が、「時間と空間」という切り口をふまえ、地域の地理的・歴史的な事象をどう認識し、どのように地域の資産とし、受け継いでいくかなどについて論じます。



講義の日程・講師

※開講時間は、午前の講義：午前10時30分～正午 / 午後の講義：午後1時～2時30分

■ 第69回 2025 5/18日

講師：早稲田大学教授 山内 昌和氏（人口地理学）

地域と人口—これまでとこれから—

- ▶午前 「人口変化のメカニズムと世界の人口」
- ▶午後 「日本における地域別の人口とその変化」

■ 第70回 2025 7/27日

講師：早稲田大学教授 箸本 健二氏（都市・経済地理学）

まちづくり現場における地域資源の活用

- ▶午前 「「文脈化」を介した中心市街地活性化」
- ▶午後 「イタリアのまちづくりを支える非営利団体」

■ 第71回 2025 9/28日

講師：早稲田大学教授 高木 徳郎氏（日本中世史）

中世越後国の荘園と武士

- ▶午前 「中世越後国の荘園と東大寺」
- ▶午後 「源平内乱期の越後国の荘園と武士」

■ 第72回 2025 11/9日

講師：早稲田大学教授 大橋 幸泰氏（日本近世史）

異端的宗教活動の江戸時代

- ▶午前 「キリシタン・隠し／隠れ念仏」
- ▶午後 「越後の異安心事件」

■ 第73回 2026 1/18日

講師：早稲田大学教授 池 俊介氏（地誌学）

ポルトガルの風土と文化

- ▶午前 「景観から読みとくポルトガルの歴史」
- ▶午後 「ポルトガルの風土と文化の特色」

■ 第74回 2026 3/15日

講師：早稲田大学教授 久保 純子氏（自然地理学）

利根川と信濃川

- ▶午前 「利根川とその流域」
- ▶午後 「信濃川とその流域」

◆2024年度の早稲田松代塾「作家・詩人から学ぶ世界の文学」

第65回 2024年6月30日(日) 早稲田大学教授 堀江 敏幸氏

【延期】 「島崎藤村『千曲川のスケッチ』と世界文学—詩から散文への変容」
「島崎藤村『夜明け前』と1930年代」

第66回 2024年10月6日(日) 早稲田大学非常勤講師 澤 直哉氏

「詩と本、詩の本—バラトウインスキイ、マンデリスターム、タルコフスキイ(1)」
「詩と本、詩の本—バラトウインスキイ、マンデリスターム、タルコフスキイ(2)」

第67回 2024年12月1日(日) 早稲田大学准教授 マヌエル・アスアヘアラム氏

「世界文学からガルシア＝マルケスへ」「ガルシア＝マルケスから世界文学へ」

第68回 2025年3月2日(日) 早稲田大学教授 松永 美穂氏

「現代ドイツ文学と日本文学の往還—多和田葉子について」
「山のうちそと—ヨハンナ・シュピリの『ハイジ』と多和田葉子の「ゴットハルト鉄道」

◆これまでの早稲田松代塾(参考)

2009年度『近代日本の思想と文化(第1期)』
2010年度『私たちにあってアジアとは何か—歴史地理の観点から』
2011年度『日本古代史の謎に迫る』
2012年度『国際問題と日本の外交』
2013年度『近代日本の思想と文化(第2期)』
2014年度『憲法改正論議と世界の憲法』
2015年度『多元文化論(第1期)—日本史・世界史の常識を再考する—』
2016年度『多元文化論(第2期)—日本史・世界史の常識を再考する—』
2017年度『東洋の宗教／思想』
2018年度『地球の環境と資源(第1期)』
2019年度『地球の環境と資源(第2期)』



● 会 場 ほくほく線まつだい駅併設 まつだいふるさと会館2階「常春ホール」

● 受講料 1回(1日2コマ) **2,000円** (資料代700円、講義料1,300円) ※高校生無料

● 定 員 先着**80人**

● 申込み 住所、氏名、電話・FAX番号、メールアドレスを明記のうえ、葉書にて下記住所まで
〒942-1527 十日町市太平598-4 松茸ドーミトリィ内 松代早稲田協力会

● 問合せ 松代早稲田協力会・木戸一之(TEL:090-5333-4112)